

農業体験を新たな商品化へ！

11月8日(日)、農林漁業の六次産業化の新たな試みとして、農業体験の商品化を目指したモニター事業が開催されました。今回は、茶業をメインに手作りの日帰り体験が実施され、参加者は、茶摘みやほうじ茶作り、お茶の飲み比べなどを楽しんでいました。



元気はつらつスクール

11月6日(金)、少年自然の家で、てらやまんち元気はつらつスクールが開催されました。参加した13人は、薩摩川内はんや体操などのレクリエーションを楽しんだ後、昼食を共にし、参加者同士の交流を深めました。



初めて市芸能祭を無観客で開催

11月8日(日)、川内文化ホールで、第15回薩摩川内市芸能祭が、無観客でのライブ映像配信により行われ、舞台上では、さまざまな伝統芸能などが披露されました。当日は、アクセスの集中などにより、映像配信の不具合などがあったため、当日の様子を編集した映像を配信しています。



▲市芸能祭
※視聴には別途通信料がかかります。

駅前で久しぶりのにぎわい うんまか市開催

11月14日(土)、川内駅西口駅前広場で食のうんまか市が開催されました。コロナ禍の中、落ち込んだ地域経済の回復とにぎわいの創出、食の情報発信を目的に、消毒や検温などの感染防止対策を講じて開催されたうんまか市は、出店者による食の提供やステージイベント、抽選会とともに、訪れた人を楽しませました。



山元酒造(株)とオガタマ酒造(株)が世界一に輝く！

世界三大酒類コンテストで、山元酒造とオガタマ酒造が、部門最高賞を獲得し、11月17日(火)、田中市長を表敬訪問しました。両社の山元隆功社長は「愛飲していただいている皆さんに受賞という形で恩返しできました」と喜びを報告されました。



○写真右：山元酒造「にぎり梅酒 梅太夫」=インターナショナル ワイン&スピリッツ コンペティション (IWSC)2020 リキュール部門最高賞トロフィー受賞
○写真左：オガタマ酒造「鉄馬」=インターナショナル・スピリッツ・チャレンジ(ISC)2020 焼酎部門最高賞トロフィー・ダブル金賞受賞



令和元年度決算の概要

をお知らせします

令和元年度の一般会計および特別会計の決算は、1表のとおり歳入歳出差引41億2,021万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源7億1,231万円を控除した実質収支は、34億7,900万円となりました。

また、全会計の市債残高(2表)は503億4,979万円で、前年度に比べ21億4,640万円の減、基金残高(3表)は167億3,434万円で、前年度に比べ29億4,105万円の減となりました。

今後も適切な財政運営を行うため、財政運営プログラムの着実な推進に努めます。

令和元年度実質収支

1表

	一般会計	特別会計	計
歳入①	560億1,939万円	273億6,883万円	833億8,822万円
歳出②	525億2,365万円	267億4,437万円	792億6,802万円
差引(①-②)	34億9,574万円	6億2,446万円	41億2,021万円
翌年度へ繰り越すべき財源③	5億3,797万円	1億7,434万円	7億1,231万円
実質収支(①-②-③)	29億5,777万円	4億5,013万円	34億790万円

※計などについては、端数処理の関係で一致しない場合があります。

市有財産現在高(令和元年度末)

3表

区分	令和元年度末現在高	平成30年度末との比較増減
山林	8,002万5,116.27㎡	10万648.00㎡増
山林以外の地	1,595万1,094.48㎡	11万3,381.63㎡減
建物	64万3,645.22㎡	491.47㎡減
有価証券	4,628万円	-
出資による利権	2億7,471万円	-
債権	6億2,777万円	1,295万円増
基金	167億3,434万円	29億4,105万円減

用語解説

■翌年度へ繰り越すべき財源：令和元年度に事業を完了できず、令和2年度へ実施を繰り越した事業の財源

■実質収支：歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額で、地方公共団体の財政運営の良否を判断する重要なポイントとなる

■一般会計：予算の中心となる基本的・一般的な会計であり、他の会計に属さないものは、全てこの会計で処理される

市債(市の借入金)の現在高

2表

会計	項目	金額
一般会計	臨時財政対策債	186億2,773万円
	土木債	49億3,863万円
	教育債	43億147万円
	総務債	28億3,809万円
	消防債	25億274万円
	衛生債	20億1,192万円
	農林水産業債	11億5,422万円
	商工債	2億7,007万円
	減税補てん債	2億2,180万円
	公営企業出資債	1億7,741万円
特別会計	災害復旧債	1億4,621万円
	一般会計(合計)	371億9,029万円
	公共下水道事業	46億6,968万円
	天辰第一地区土地区画整理事業	10億1,891万円
	農業集落排水事業	8億3,496万円
	簡易水道事業	8億990万円
	漁業集落排水事業	4億3,234万円
	入来温泉場地区土地区画整理事業	4億3,014万円
	天辰第二地区土地区画整理事業	2億1,667万円
	国民健康保険直営診療施設勘定	5,490万円
公営企業会計	浄化槽事業	2,396万円
	水道事業	46億6,805万円
公営企業会計(合計)	46億6,805万円	

全会計市債残高(合計)

令和元年度末全会計市債残高(合計)①	503億4,979万円
平成30年度末全会計市債残高(合計)②	524億9,619万円
比較増減(①-②)	△21億4,640万円

※計などについては、端数処理の関係で一致しない場合があります。

市民1人当たりでは…

令和元年度末市民1人当たりの全会計市債残高③	53万5,824円
平成30年度末市民1人当たりの全会計市債残高④	55万3,997円
比較増減(③-④)	△1万8,173円

問合せ
本庁財政課財政G(内線4732)